

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立南市岡小学校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

○「いじめアンケート」の計画的な実施、学習者用端末の「心の天気」機能の活用等を通して、早期発見・早期解決につなげることができている。また、月一回以上実施しているいじめ対策委員会及び生活指導連絡会にて児童の状況を全教職員で情報共有・共通理解し、組織的に丁寧に対応することで、いじめの解消した割合は 100% となっている。

○道徳の授業の充実、日々の取り組みや学校行事を通して、誰もが過ごしやすい学校作りに努めてきた結果、令和 5 年度の学校アンケート「学校に行くのが楽しい」に対する肯定的な回答は 92% となり、令和 4 年度を上回った。

○不登校への対応については、関係諸機関やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも連携し、組織的に対応することで、児童の状況は改善してきている。

○生きる力を育む「性に関する指導」の学習指導計画や学習指導案を作成し、計画的・段階的に実践に取り組むことができた。地域や保護者に向けての公開授業も全学級で 1 回以上実施したので、児童の意識は高まり、理解は深まった。保護者の理解も得られた。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○視聴覚機器や視聴覚教材の活用、ペア活動やグループ交流の設定、個に応じた指導の充実やデジタルドリル「Navima」の活用等を進めてきた結果、令和 5 年度の学校アンケート「自分の思いや考えを表現することができる」に対する最も肯定的な回答は 46% となった。また、「学校の勉強がわかる」に対して肯定的に回答する児童の割合は 95% となり、85% 以上を維持することができた。

○ICT 機器の有効活用、ペア学習やグループ交流、図書室の効果的な利用については、さらに工夫を進める。児童が意見交流する場の設定、一人一台学習者用端末の活用についての研修、体験的な活動を通じた自ら学ぶ学習の充実にさらに取り組んでいく必要がある。

○体力向上の取り組みについては、学校全体で「なわとび週間」「かけあし週間」を実施し、運動が苦手な児童もしっかり体を動かす機会を増やしたり、カードを活用したりした結果、児童の運動意欲の向上が見られた。今後も体力作りの取り組みや家庭と連携した健康的な生活習慣の確立に向けた取り組みを進めていく必要がある。

【学びを支える教育環境の充実】

○指導者用デジタル教科書や一人一台学習者用端末は活用することができているが、ICT 機器や「Navima」等デジタル教材の活用、オンライン学習等の取り組みについては工夫の余地がある。ICT 機器やデジタル教材の効果的な活用方法、オンライン学習等の取り組みについて、他校の実践例を参考にしたり、研修を深めたりしながら、いっそう効果的な活用を進めていく。

○「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合は令和 6 年 3 月時点で 30% である。教職員の働き方改革の点においては、ゆとりの日や学校閉庁日の設定・実施を引き続き進めるとともに、業務の効率化をさらに意識して実行していくようとする。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。(R5年度:83.3%)

○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、77%以上にする。(R5年度:83.3%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。(R5年度:45.1%)

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を令和7年度調査において、89%以上にする。(R5年度:87.6%)

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、50%以上にする。

○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童(生徒)の割合を、76.5%以上にする。(R5年度:84.8%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○本市調査における「いじめを受けた児童生徒が当該行為をいじめではないと否定することをもって「いじめはない」と判断するのではなく、当該児童生徒の表情や様子をきめ細かく観察するなどして確認し、いじめに該当するか否か判断している」とする教員の割合を100%にする。(R6年度:100%)

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83.4%以上にする。(昨年度83.3%)(R6年度:77.2%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45.2%以上にする。(昨年度45.1%)(R6年度:48.0%)

○小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を93.8%以上にする。(昨年度93.7%)(R6年度:92.1%)

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50.0%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を30.0%以上にする。(R6.12現在:60.0%)

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.9%以上にする。(昨年度84.8%)(R6年度:79.5%)

○本市調査における、「学校図書館貸出冊数(児童1人当たりの年間貸出冊数)」を40冊以上にする。(昨年度74.1冊)(R6.12現在:72.4冊)

○小学校学力経年調査における「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して、「週に1回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合を87.6%以上にする。(昨年度87.5%)(R6年度:100%)

3 本年度の自己評価結果の総括

「安全・安心な教育の推進」については、計画通り、月に一回以上いじめ対策委員会及び生活指導連絡会を実施することで、全教職員で児童の状況を情報共有・共通理解することができた。また、「いじめアンケート」の計画的な実施（学期に一回）や学習者用端末の「心の天気」機能の活用等を通して、児童の様子や困り感等といった児童の状況を把握することで児童理解に努めたり、話しやすい雰囲気の中、日常会話から児童の様子を把握することに努めたり、きめ細かく対応してきた。その結果、トラブルの早期発見・早期解決や児童の心の安定につながった。また、運動会や作品展、たてわり活動等の様々な学校行事に取り組んできた結果、児童が活躍したり達成感を味わったりすることができ、児童の自己肯定感は高まった。学校アンケート「自分にはよいところがあると思う」に対して肯定的に回答する児童の割合は85%となり、概ね目標を達成することができた。今後も引き続き、教職員間の情報共有・共通理解を密にし、きめ細かな観察に基づく児童理解、いじめ・不登校・児童虐待等の問題の早期発見・早期解決に努める。また、家庭・地域・関係諸機関との連携も引き続き図っていく。さらに、学校生活の様々な場面で児童が活躍したり達成感を味わったりすることができる場を意図的に設定して取り組みを進めるとともに、各教職員が称賛したり、児童が相互に認め合ったりすることができるような取り組みを進めていく。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」については、学習ノートやハンドサイン、視聴覚機器等を有効活用し、自分の考えを明確にして交流したり表現したりする場を設定することで主体的・対話的な学びを深める指導方法の工夫を図ってきた。その結果、学校アンケート「自分の思いや考えを表現することができる」に対して最も肯定的に回答する児童の割合は48%となり、目標を上回った。また、年間2回、健康生活週間や体力づくり週間に取り組んだ結果、学校アンケート「運動をすることが好きだ」に対して肯定的に回答する児童の割合は85%となり、目標を達成することができた。また、休み時間や放課後、声をかけ合って外遊びをする児童の姿も見られた。朝食を摂ることの大切さについては、給食委員会の活動で児童に呼びかけたり、食育だよりや保健だよりで保護者に発信したり、学校全体で取り組んできたので、意識は高まっている。今後も引き続き、ICT機器や学習者用端末の活用法について研修と実践を重ね、特に学習者用端末については、自分の思いや考えを表すためのツールとしての活用方法を工夫していく。また、基礎的・基本的な学習内容の積み重ねや学習規律についての指導を継続していく。生活習慣の確立や体力・運動能力の向上にかかわっても、健康生活週間や体力づくり週間の取り組みを継続し、保護者への啓発や児童のさらなる意識の向上につながる取り組み、児童が体を動かすことのできる時間の確保を進めていく。

「学びを支える教育環境の充実」については、朝の読書タイム（火・金）、低学年中心の図書館ボランティアや、主幹学校司書による教科の学習内容にあわせた図書の時間の読み聞かせ、主幹学校司書や委員会による週4日の図書館開放、担任と主幹学校司書との連携による国語科の並行読書などを通して、進んで読書する児童の育成を図った。その結果、学校アンケート「読書をしている」に対して肯定的に回答する児童の割合は88%となり、目標を達成することができた。また、図書館を情報センターとして活用できるようになってきた。指導者のICT機器の活用については、ICT機器やデジタル教材など、ほぼ毎日活用できている。児童については、デジタルドリル（Navima）のほ

か、発表ノートによるノート作りや、Kahoot、スライド、ポジショニング、タイピング、NHK for school 調べ学習などで、学習者用端末（児童用）を週3回以上取り組むよう努めてきたので、高学年では、週3回以上取り組むことができている。今後も引き続き、読書センターとしてだけでなく、学習センター・情報センターとしての図書館活用を進めていく。ICT機器の活用にかかわっては、教員間で活用状況の共有（どの教科でどんな活用をしたのかという一覧表を作成）をしたり、発表ノートで作成したワークシートなどを、次年度も利用できるように、「共有」したりしていく。また、各学年の「情報活用能力一覧表」を作るなどして学年別のスキル到達度を設定し、ICT研修を行う等、研修の進め方を工夫していく。教職員の働き方改革の点においては、夏季休業中の学校閉庁日は5日設定し、ゆとりの日には定時に退勤するよう心がけてはいる。また、SSSの力も大きく、実際、職員の超過勤務時間の平均は、昨年度と比べて大幅に改善されている。スキップの会議室「校務の見直し」も活用していくようとする。

(様式 2)

大阪市立南市岡小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>・本市調査における「いじめを受けた児童生徒が当該行為をいじめではないと否定することをもって「いじめはない」と判断するのではなく、当該児童生徒の表情や様子をきめ細かく観察するなどして確認し、いじめに該当するか否か判断している」とする教員の割合を 100% にする。 (R6 年度 100%)</p> <p>・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77.3% 以上にする。(R6 77.2%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【1－1 いじめへの対応】 いじめ対策委員会及び生活指導連絡会を通して、児童の実態把握に努め、定期的にいじめアンケートを実施する。また、「心の天気」を活用し、児童の心の変化を注視する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策委員会及び生活指導連絡会を月に一回以上実施する。 ・いじめアンケートを学期に一回以上実施する。 ・「心の天気」で雷マークを入力した児童に聞き取りを行い、即時対応する。 	進捗状況
<p>取組内容②【2－1 道徳教育の推進】 道徳の年間指導計画に従って、道徳授業の充実を図るとともに、様々な学校行事を通して、児童の自己肯定感を高められるよう取り組みを進める。</p> <hr/> <p>指標 学校アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を過去 3 年平均以上にする。 (過去 3 年平均 86%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

後期への改善点

(様式 2)

大阪市立南市岡小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 48.1 以上にする。 (R6 48.0%) ・小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 92.2 以上にする。 (R6 92.1%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】 校内研究を通して、文章や資料を読み理解するための指導の工夫を行う。学習ノートやハンドサイン、視聴覚機器なども有効活用し、自分の考えを明確にして、交流したり表現する場を設定し、主体的・対話的な学びを深める指導方法の工夫を図る。	
指標 学校アンケートの「自分の思いや考えを表現することができる」に対する最も肯定的な回答を 48.1% 以上にする。 (R6. 12 月 48%)	
取組内容②【5-2 健康教育・食育の推進】 児童が自身の生活習慣を振り返る機会を設定し、元気に健康で過ごすことの大切さについて意識を高める。	

指標

年間2回、健康生活週間に取り組み、小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を均92.2%以上にする。

(R6. 92.1%)

取組内容③【5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】

体育的行事や体力づくりの取り組みなどを工夫し、体力・運動能力を高められるようにする。

指標

年間に2回以上体力づくり週間に取り組み、学校アンケートの「運動をすることが好きだ。」に対する肯定的な回答85%以上を維持する。(R6. 12月 85%)

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

後期への改善点

(様式2)

大阪市立南市岡小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した
B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった
D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none">授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50.0%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く] (R6.12月現在15.4%)年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を30.0%以上にする。(R6.12現在60%)小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.6%以上にする。(R6.79.5%)本市調査における、「学校図書館貸出冊数(児童1人当たりの年間貸出冊数)」を40冊以上にする。(R6. 92冊)小学校学力経年調査における「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して、「週に1回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合を87.6%以上にする。(R5.87.5%) (R6.100%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6－1　ＩＣＴを活用した教育の推進】 ＩＣＴ機器やデジタル教材を積極的に活用した学習指導を進める。</p>	
<p>指標 デジタルドリル等、学習者用端末を活用した学習に週3回以上取り組む。</p>	
<p>取組内容②【7－1　働き方改革の推進】 業務の効率化や健康維持への意識を高める。</p>	
<p>指標 学校閉学日については、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間中は2日以上設定する。</p>	
<p>取組内容③【8－2　「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組】 朝の読書タイムや図書館開放を充実させ、進んで読書をする児童の育成を図る。</p> <p>指標 学校アンケートの「読書をしている」に対する肯定的な回答を80%以上にする。 (過去3年平均87%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	